

第17回広島高速道路公社運営会議 議事概要

1 日 時 令和5年7月21日（金）15:30～16:10

2 場 所 広島県庁 北館2階第一会議室（広島市中区基町10番52号）

3 出席者

広島県知事（会長）	湯 崎 英 彦		
広島市長	松 井 一 實		
国土交通省中国地方整備局長	中 崎 剛	（代理出席）	道路部長 門 間 俊 幸
広島商工会議所会頭	池 田 晃 治	（代理出席）	副会頭 高 場 敏 雄
広島高速道路公社理事長	熊 谷 鋭		

4 議 題

議題1 広島高速道路の利用状況等

- (1) 事業計画
- (2) 交通の現状
- (3) 利用促進等に係る取組
- (4) G7広島サミット対応

議題2 高速5号線の整備状況

- (1) 全体概要
- (2) 〔牛田地区〕トンネル区間の状況
- (3) 〔温品地区〕2-5号連結路の工事進捗状況

議題3 道路施設の老朽化に伴う更新

議題4 今後の取組

- (1) 広島高速道路を取り巻く状況の変化
- (2) 状況変化を踏まえた取組
- (3) 広島高速道路の今後の事業展開

5 議事概要

出席者からの主な意見は次のとおり。

〔議題2〕高速5号線の整備状況

- ・ 掘進が再開され、地表面変位を抑制する対策を実施しながら、慎重に工事が進められているところであるが、騒音・振動による影響の申し出に対しても丁寧な対応を行い、住民の安全・安心を第一に工事を進めながら早期完成を目指していただきたい。
- ・ 高速5号線は、広島空港とのアクセス向上に資する重要な路線であり、高速性・定時性を確保するため、早期完成をお願いしたい。
- ・ 空港アクセス強化として、空港への主たるアクセスルートである山陽自動車道については、事故や渋滞が発生した際に、非常に影響を受けやすいことから、山陽自動車道の車線数の増加について、国への施策提案などの機会でも要望しており、実現すれば、非常に効果が高いものと考えている。

- ・ 高速5号線は、将来にわたって活力とにぎわいを生み出し続けていく上で欠かすことのできない都市基盤施設であり、早期完成に向けて引き続き取り組んでいただきたい。
- ・ 2-5号線連結路の完成遅延について、課題を早急に整理し関係機関との調整を経て、所要の手続きを進める必要がある。

〔議題3〕道路施設の老朽化に伴う更新

- ・ 広島高速道路を安全、安心に通行するためには、道路施設の維持管理は大変重要であり、とりわけ大規模修繕を行わないと重大な損傷につながる恐れがあるので、しっかりとした対応が必要である。
- ・ 道路施設の老朽化に伴う更新については、全国的な流れを踏まえながら広島高速道路においても、適切に対応を進める必要がある。

〔議題4〕今後の取組（広島高速道路の今後の事業展開）

○ 高速2号線（東雲IC～仁保IC）の4車線化及び東雲南向きランプの整備について

- ・ 仁保ランプは、マツダ宇品工場と取引する企業など広島港の方々が利用する物流経路としても重要であり、明神高架橋の開通に向けて、仁保ランプ（出口）の渋滞対策として、東雲南向きランプ及び高速2号線の4車線化については、早く事業に着手していただきたい。
- ・ 都市圏内の再開発を進めている中で、今後の広島都市圏の更なる発展に向け、人の流れも含めた高速道路ネットワークの充実強化は必要不可欠なものであり、高速2号線の4車線化や高速4号線の延伸、東雲ランプのフル化など、広島都市圏のネットワーク強化をしっかりと進めていただきたい。
- ・ 広島都市圏の人流・物流・交流を都心に結びつけるためには、広域道路ネットワークの充実・強化が不可欠であり、とりわけ東広島市や呉市からの交通需要に対応するため、高速2号線の4車線化等に取り組んでいただきたい。

○ 高速4号線の山陽自動車道への接続について

- ・ 高速4号線を延伸して山陽自動車道に接続すれば、広島市都心部と県北部方面とのアクセスが飛躍的に向上する。物流経路としても非常に重要だと考えている。早期の事業化をお願いしたい。

○ 広島都市圏における広域道路ネットワークの充実強化

- ・ 広島都市圏の経済発展を考えれば、物流の観点から宇品港や広島空港といった交通拠点と山陽自動車道をいかに結ぶかが重要であり、平成4年に策定した幹線道路網の計画に基づき、各関係者が道路整備に取り組んできたが、今後も広島都市圏の更なる発展に向けて、広域道路ネットワークの充実強化が必要不可欠である